

放射能関係のお知らせ

2017年7月4回(B週)

お届け日:2017/7/24~7/28
発行日:2017/7/10



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/7/5(水)までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	すもも	品目で検査済
		検査予定
	小玉すいか	品目で検査済
		検査予定
	デラウェア	品目で検査済
		検査予定
	ブルーベリー	品目で検査済
		検査予定
	メロン	品目で検査済
		検査予定
桃	品目で検査済	
	検査予定	
果菜	いんげん	品目で検査済
		果菜類で検査済
		検査予定
	枝豆	品目で検査済
		果菜類で検査済
	オクラ	果菜類で検査済
		検査予定
	かぼちゃ	果菜類で検査済
		検査予定
	きゅうり	品目で検査済
果菜類で検査済		
検査予定		
ししとう	果菜類で検査済	
ズッキーニ	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
トマト	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
	検査予定	
とうもろこし	果菜類で検査済	
なす	果菜類で検査済	
にがうり	果菜類で検査済	
ピーマン	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
ミニトマト	品目で検査済	
	果菜類で検査済	

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	アスパラ	品目で検査済
	大葉	葉菜類で検査済
	キャベツ	葉菜類で検査済
	空心菜	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	小松菜	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	サニーレタス	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	チンゲン菜	品目で検査済
	つるむらさき	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	にら	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	ねぎ	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	葉ねぎ	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	ブロッコリー	品目で検査済
	パピーリーフ	品目で検査済
	ほうれん草	品目で検査済
		葉菜類で検査済
		検査予定
	みず菜	葉菜類で検査済
	モロヘイヤ	葉菜類で検査済
	ルッコラ	葉菜類で検査済
	レタス	品目で検査済
	若芽ひじき	品目で検査済
		品目で検査済
	ごぼう	品目で検査済
根菜類で検査済		
じゃがいも	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
	検査予定	
玉ねぎ	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
大根	品目で検査済	
	検査予定	
長芋	品目で検査済	
人参	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
にんにく	根菜類で検査済	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済
エリンギ	品目で検査済
生きくらげ	品目で検査済
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済
なめこ	品目で検査済
ぶなしめじ	品目で検査済
ささかみのまい	品目で検査済
たけ	品目で検査済
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/7/5	7.4
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 344	豚のチンジャオロースセットのしいたけ	2017/5/8	4.9
きなり 297			
きなりセレクト 341053			
コトコ 111295	おいしさ2通り坦々麺~ココ旨坦々麺~セットのしいたけ	2017/7/5	7.4
きなり 293			
コトコ 349	担々マーボー豆腐セットのしいたけ	2017/7/5	7.4
きなり 305			
コトコ 360	香ばしあんかけ焼きそばセットのしいたけ	2017/4/24	3.3
きなり 112186			
コトコ 111287	白身魚のきのこあんかけセットのまいたけ水煮	2017/4/24	3.3
きなり 306			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185540	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
240粒:186350			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップエンドウなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

放射能拡散 6年めの対策 いかにかに食べるか

原発事故から6年が過ぎ、いかにかに食べていくのか、何を食べていくのか、は常に考えにある状態かもしれません。

どのくらいまでなら安心で、どこからが危険かというラインは正確にはわかりません。

たとえば、チェルノブイリでは体内に 20Bq/kg のセシウムがホールボディカウンターで確認されれば、セシウムを排出するための薬を処方されます。

日本では、微量に尿に含まれていたという情報も散見されますが、実際のところ甲状腺エコー検査しか公的にはやられておらず、全体的なデータ不足な状態となっております。

微量検出の食材を選ぶか、選ばないかは、個々の判断になります。放射線被害は蓄積ですので、元々どのくらい放射線を浴びているか、個々の年齢、健康状態などで異なります。

パルスシステムでは継続して計測しており、検出数値が明らかとなっております。しかし、一般流通のほとんどが検査をされておらず、たまたま流通品からの基準値を超えた報告(↓今回の山形県の流通品のコシアブラのように)がされますが、それもすべての商品を検査しているわけではありません。

● 過去に被ばくした医師の話

長崎で被爆した秋月辰一郎医師は原爆投下時爆心地より1.8キロメートルに病院にありましたが、「玄米、かぼちゃ、わかめの味噌汁、塩を勧め、砂糖は絶対にとってはならない」と指示し、秋月医師の病院では原爆症で亡くなった人がいなかったと「死の同心円」という著作の中でいっています。当時は、放射能をかなり含んだ食材を食べていたと思われます。秋月氏の書きのこしたこの一文から、「玄米」、「かぼちゃ」、「海藻」、「味噌」が研究され、放射能や放射線に対抗した食材として知られるようになりました。

また、広島で被爆し先ごろ 100歳で亡くなられた肥田舜太郎医師は一口 30回以上噛むことを推奨しています(肥田先生は 100回されていました)。よく噛むことで、消化吸収がよくなります。唾液中に含まれる酵素はよく噛むことで分泌され、解毒にも効果があるとされています。

肥田先生は、「規則正しい生活」、「腹八分目」、「発酵食品をとること」などを亡くなるまで多くの人たちに語り歩きました。

● 映画「いただきます」

福岡の高取保育園では、玄米を中心にした食生活を実施し、通う子どもたちのアトピーや中耳炎がよくなった事例が紹介されています。上映企画が予定されている最寄の生協もありますので、機会があればぜひご覧ください。

子どもたちの生きる力、健康に育つ力、強くおだやかな心は「食」から始まります。バランスのよい食生活で現代を生き抜く力を養ってほしいものです。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1038)」(2017/4/7~2017/6/16で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

タラの芽:長野県軽井沢町 31~57Bq/kg
ギンブナ:千葉県柏市(手賀沼) 55Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体です。

ツキノワグマ肉:福島県猪苗代町・郡山市 370・200Bq/kg
イノシシ肉:福島県国見町 180・110Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

コシアブラ:福島県桜枝岐村 43・71Bq/kg
ウワバミソウ:福島県二本松市 34Bq/kg
イワナ:福島県西郷村烏首川(阿武隈川水系)ほか 9.7~59Bq/kg
マコガレイ(海の魚):福島県いわき市 36Bq/kg
ヤマメ:福島県桑折町(阿武隈川水系) 31Bq/kg
アユ:福島県福島市(阿武隈川) 27Bq/kg
コイ:福島県福島市(阿武隈川) 8.4~20Bq/kg
わらびの塩漬:福島県西会津町 23Bq/kg
イノシシ肉:福島県須賀川市・郡山市ほか 20~89Bq/kg
ツキノワグマ肉:福島県郡山市 26Bq/kg

- 国立医薬品食品衛生研究所より発表された検査結果、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体です。

コシアブラ:山形県流通品 150Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

ウワバミソウ(ミズ):岩手県平泉町流通品 26Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

現在でも、長野県や新潟県など事故のあった原発より遠い場所でも国の基準を超えて放射能が検出されます。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。

また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

6月の放射能検査状況

6月の検査は、しいたけから生しいたけ(原木栽培)から2件(11, 13Bq/kg)の検出がありました。

乳幼児用食品は、検出下限値を2016年4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	6月	6月の検出内容	6月
青果	71(0)		卵 0(0)
しいたけ	4(2)	生しいたけ(原木栽培) 11,13Bq/kg	魚介類 20(0)
その他のきのこ類	20(0)		飲料水・飲料 12(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品 21(0)
牛乳・乳製品	0(0)		その他加工食品 171(0)
肉類	6(0)		合計 325(2)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月~2017年3月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2017年2月に常総センターのれんこんで3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0~3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)、なめこが(4.4Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9, 4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルスシステムの放射能検査について

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以南の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルスシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準
2014年10月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。